

科目名		アマデウスシステム実務Ⅱ					
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅客サービス会社において 旅客サービス業務担当		
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約・発券について学び、検定においてAir-Expert(中級)合格を目指す。中級では運賃や運賃規則に関する知識を学び、テキストを参照せずに検定問題に対応できるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Specialist(初級)の検定問題を、何も見ずに一人で実施することができる。	
		○				新しいエントリを問題によって使い分け、応用させることができる。	
		○				運賃ルールの調べ方や読み取り方を理解し、解答のポイントを説明することができる。	
		○				Air-Expert(中級)の検定問題を、何も見ずに一人で60分以内に実施することができる。	
	○				Air-Expert(中級)に合格することができる。		
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、アマデウスユーザーガイド発券・運賃、クイックガイド(早見表)オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	初級振り返り(情報検索、タイムテーブル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	2	小テスト①・初級振り返り(空席照会・基本PNR作成、乗継PNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	3	初級振り返り(小児・幼児付きPNR作成・MEAL・SEAT・FFP)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	4	小テスト②(初級確認テスト)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	5	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差、GGPCA)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	6	情報検索確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	7	PNR作成演習(PNRの分割、フライト変更)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	8	PNR作成演習(マイルージ情報からのPNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	9	PNR作成演習(セキュリティ設定、QUE送信)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	10	PNR作成演習(PNRのコピー、リマークス入力)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	11	小テスト③(PNR作成確認テスト)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	12	PNR作成からの最安値検索、運賃照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	13	運賃表の照会と読み取り			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	14	運賃規則の確認(ルーティング)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	15	運賃規則の確認(ストップオーバー)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	16	運賃規則の確認(日付変更、キャンセル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	17	運賃規則の確認(事前購入)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	18	運賃規則の確認(その他のルール)運賃表読み取り、小テスト④(運賃規則確認テスト)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	19	検定模擬試験①、採点			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	20	検定模擬試験①解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	21	検定模擬試験②、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	22	検定模擬試験②解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
23	定期試験			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。			
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		50%
	検定取得状況		◎		○		5%
小テスト		◎		○		45%	
履修上の注意	Air Expertはクイックガイド持込不可の為、エントリを覚えること。確認テストの際はテキストは見ずに行う。						

科目名	実用英語 I・II - ①						
科目名(英)	Practical English II - ①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英語検定2級レベルの語彙(4,000~5,000語)の意味を理解できる。		
	○				まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。		
	○				日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。		
	○				日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。		
○	○				日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	プレイズメントテスト					
	2	プレイズメントテスト					
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)					
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと		
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)					
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)					
	26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	30	実践問題 2018年度第1回の解答解説、定期試験(50分間)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
授業前課題				○		5%	
履修上の注意	・朝課題を必ず行うこと。この課題の小テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。						

科目名	実用英語 I・II - ①						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科 1,2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙:TOEICに頻出の単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話しの内容を理解する事ができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R 出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学習指示		
	1	TOEIC IP テスト実施					
	2	TOEIC IP テスト実施					
	3	シラバス確認、TOEIC概要、英語の基本ルール					
	4	文法: unit 1-2, Listening: part1(1-6)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	5	文法: unit 3-4, Listening: part2(7-11)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	6	文法: unit 5-6, Listening: part2(12-16)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	7	文法: unit 7-8, Listening: part2(17-21)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	8	文法: unit 9-10, Listening: part2(22-26)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	9	文法: unit 11, Listening: part2(27-31) Reading: part7(147-148)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	10	Listening: part3(32-37) Reading: part7(149-152)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	11	Listening: part3(38-43) Reading: part7(153-157)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	12	Listening: part3(44-49) Reading: part7(158-163)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	13	Listening: part3(50-55) Reading: part7(164-171)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	14	文法: unit 12-14, Listening: part3(56-61)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	15	文法: unit 15-17, Listening: part3(62-67)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	16	文法: unit 18-20, Listening: part3(68-70)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	17	文法: unit 21-22, Listening: part4(71-73)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	18	文法: unit 23-24, Listening: part4(74-76)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	19	文法: unit 25-27, Listening: part4(77-79)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	20	文法: unit 28-29, Listening: part4(80-82)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	21	文法: unit 30-32, Listening: part4(83-85)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	22	Listening: part4(86-88) Reading: part7(172-175)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	23	Listening: part4(89-91) Reading: part7(176-180)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	24	Listening: part4(92-94) Reading: part7(181-185)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	25	Listening: part4(95-97) Reading: part7(186-190)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	26	Listening: part4(98-100) Reading: part7(191-195)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	27	Listening: part1(1-6) Reading: part7(196-200)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	28	文法: unit 33-35, Listening: part2(7-31)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	29	文法: unit 36-37, Listening: part3(32-70)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	30	文法: unit 38, Listening: part4(71-100)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中のスマホ使用禁止 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I・II - ①					
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年					
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○					
	○					
	○					
	○					
学習目標(到達目標)	目標 語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる 読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる 英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる					
テキスト・教材 参考図書	・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級					
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOCM			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること	
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	12	8日目: 英作文問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	13	8日目: 英作文問題① 問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること	
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	18	11日目: [応用]短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	20	12日目: [応用]短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	21	13日目: [応用]短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	22	14日目: [応用]短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	23	演習: リスニング特訓②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	24	15日目: [応用]長文の語句空所補充問題を攻略! ②-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	25	15日目: [応用]長文の語句空所補充問題を攻略! ②-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	26	演習: リスニング特訓③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	27	16日目: [応用]長文の内容一致選択問題を攻略! ③-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	28	17日目: [応用]長文の内容一致選択問題を攻略! ③-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	29	演習: リスニング特訓④			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	30	前期定期試験 (筆記)			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
評価方法	(1)、定期試験(筆記)を実施する					
	(2)、月曜日から金曜日まで、毎朝、単語の小テストを実施する。					
	(3)、宿題を課す。以上を下記の観点・割合で評価する。					
	成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動	態度・意欲	その他
定期試験	◎	◎				50%
小テスト	◎	○		○		25%
宿題	◎	○		○		5%
朝自習	◎	○		○		20%
履修上の注意	・ 辞書を持参すること ・ 授業中のスマホの使用は禁止 ・ 授業外での自主学習の推奨					

科目名	実用英語 I、II-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・エアライン科 1年・2年					
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習し提出してください。授業は、毎朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組めますので予習・復習を忘れないください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自、しっかり「出る順パス単」を自宅学習してください。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				英検準2級の合格を目指す。
	○	○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
		○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。(3)授業への取り組み、朝課題や宿題の提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験		○				50%
	小テスト		○				30%
	朝課題・宿題・授業態度				○		20%
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、中学校卒業レベルの英語力を身につける、業務に必要な挨拶や指示が理解できる。 海外の文化などについて平易な説明を読んで内容を理解することができる。英検3級合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。	
	○	○			頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる	
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる準パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600/Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	2	実用英語2 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	3	実用英語3 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	4	実用英語4 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	5	実用英語5 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	6	実用英語6 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	7	実用英語7 適切な会話表現を学ぶ問題 / リスニング				
	8	実用英語8 読解問題 提示 / リスニング				
	9	実用英語9 読解問題 e-mail / リスニング				
	10	実用英語10 読解問題 手紙文 / リスニング				
	11	実用英語11 読解問題 説明文 / リスニング				
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング				
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング				
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング				
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング				
	16	実用英語16 リスニング第1部				
	17	実用英語17 リスニング第2部				
	18	実用英語18 リスニング第3部				
	19	実用英語19 リスニング第1部				
	20	実用英語20 リスニング第1部				
	21	実用英語21 リスニング第2部				
	22	実用英語22 リスニング第3部				
	23	実用英語23 読解問題 提示 / リスニング				
	24	実用英語24 読解問題 e-mail / リスニング				
	25	実用英語25 読解問題 手紙文 / リスニング				
	26	実用英語26 読解問題 説明文 / リスニング				
	27	実用英語27 実力完成模擬テスト / リスニング				
	28	実用英語28 実力完成模擬テスト / リスニング				
	29	実用英語29 総復習①				
	30	実用英語30 総復習②、定期試験 50分間				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 授業中に小テストを実施する。(3) 宿題を数回課す。 (4) 授業中、積極的に発表することや取り組み姿勢などを評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	○	○			
	小テスト	○	○			
	宿題・レポート		○			
	態度				○	
評価割合						
50%						
20%						
20%						
10%						
履修上の注意						

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科 2年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPoint」。そのPowerPointの基本の習得を目指すとともにプレゼンテーションを経験します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					プレゼンテーションに必要なテクニックを身に着ける	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションの資料を作成できるようになる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションを経験する	
テキスト・教材 参考図書	情報利活用プレゼンテーション						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼンテーションの企画					
	2	わかりやすいストーリー構成					
	3	必要な情報の収集					
	4	センスアップするレイアウトデザイン					
	5	視覚に訴えるチャート化					
	6	訴求力を上げるカラー化					
	7	数値をアピールする表・グラフ活用					
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用					
	9	発表で魅せるアニメーション					
	10	作品作成					
	11	発表					
	12	自信を高める万全な準備					
	13	メッセージが伝わる発表スキル					
	14	信頼を得る質疑応答					
15	期末試験						
評価方法	プレゼンテーション・課題提出のすべて行って平常点100点とし、試験の点数との平均で行う。 期末試験の点数が60点以下・または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	試験	◎	◎				50%
	プレゼンテーション	◎	◎				25%
	課題提出	◎	◎		◎		25%
履修上の注意	プレゼンテーションの各自行ってもらいますので、テーマを早めに考えてください。						

科目名	GCB II						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	<p>学生を主体者と認め、肯定的な姿勢で取り組み、学生自身に「気づき」を促すことにより、継続的な行動変容につなげる。 社会の変化に対応できる良識とスキル・知識を備え即戦力として社会で活躍する為、恵まれた人生を過ごしていることに感謝し、地域・国家の発展に貢献できる人材を目指す。</p>						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		考えることの大切さを知る(先人の話や自分を取り巻く環境について考える)	
	○	○		○		自分の言葉で伝える大切さを知る(言語化し、自分の成長を実感する)	
	○	○		○		目標の大切さ、志の大切さを知る(目標が定めることで行動することを知る)	
	○	○		○		行動する大切さに気づき、実践できる	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックII 志の教育 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	・オリエンテーション ・グローバルシティズンと志			振り返りシート提出		
	2	・なぜ志を立てることが大切なのか			振り返りシート提出		
	3	・自己を知る			振り返りシート提出		
	4	・伝える力を学ぶ(1)～プレゼンテーション～			振り返りシート提出		
	5	・伝える力を学ぶ(2)～グループコミュニケーション～			振り返りシート提出		
	6	・先人の志に学ぶ～プロとは～			振り返りシート提出		
	7	・成功者の考え方に学ぶ～まとめてに向けて～			振り返りシート提出		
	8	・スピーチ(授業を受けての振り返り)			振り返りシート提出		
評価方法	(1)授業姿勢 (2)スピーチ実施 (3)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(単位認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席	○			○		50%
	授業態度	○			○		50%
履修上の注意							

科目名	SPI対策Ⅱ						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン2年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					SPI3の形式の言語問題に慣れ、言語知識を増やす。	
		○				SPI3頻出の非言語問題の解法を学び、基本問題が確実に解ける。	
テキスト・教材 参考図書	SPI3完全版 これがSPI3						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	§1-1 推論				理解できなかった問題を繰り返す。	
	2	§1-2 集合				理解できなかった問題を繰り返す。	
	3	§1-3 表の読み取り				理解できなかった問題を繰り返す。	
	4	§1-4 順列・組み合わせ				理解できなかった問題を繰り返す。	
	5	§1-5 確率				理解できなかった問題を繰り返す。	
	6	§1-6 代金の精算				理解できなかった問題を繰り返す。	
	7	§1-7 料金の割引				理解できなかった問題を繰り返す。	
	8	§1-8 分割払い				理解できなかった問題を繰り返す。	
	9	§1-9 損益算				理解できなかった問題を繰り返す。	
	10	§1-10 速さ・距離・時間				理解できなかった問題を繰り返す。	
	11	§1-11 グラフの領域				理解できなかった問題を繰り返す。	
	12	§1-12 物の流れと比率				理解できなかった問題を繰り返す。	
	13	§2-1 二語関係				知らなかった言語を確実に覚える。	
	14	§2-2 熟語				知らなかった言語を確実に覚える。	
15	§2-3 語句の用法				知らなかった言語を確実に覚える。		
評価方法	期末テストの点で100%評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	エアラインゼミ II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	ビジネス社会は企業によって成り立っていて、その社会の中で働いていくためには、秩序に従い規範を守って行動することがとても大切です。この授業では、ビジネス社会の一員として自信をもって働いていけるように、基本的なビジネス実務マナーを学習していきます。また、航空会社関連等の社員として必要な知識、会社から求められる接客サービスのレベルについて理解を深め、将来の入社を見据えて学習していきます。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					ビジネス実務マナー(3級)検定の取得を目指します。	
				○		社会人として必要とされる基本的な資質・身だしなみ・自己管理について学習する。	
	○					ビジネス実務としての基本的なマナーを学習する。	
	○					航空会社に必要な基礎的な知識を習得する。	
○					情報の整理・伝達に必要な知識を整理し、スムーズに接客対応をすることが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	ビジネス実務マナー検定 3級 実問題集 ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ビジネスマンとしての資質について-身だしなみ・性格・自己管理			テキストを事前学習しておくこと		
	2	ビジネスマンとしての資質について-良識・協調性・積極性			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	3	対人関係の対処について-接客時の必要な知識			テキストを事前学習しておくこと		
	4	対人関係の対処について-接客時の必要な知識			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	5	組織の機能について-職位・社会的な責任			テキストを事前学習しておくこと		
	6	組織の機能について-業務分掌・職位・職制			テキストを事前学習しておくこと		
	7	ビジネス実務のマナー-心得・基本のスキル			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	8	ビジネス実務のマナー-来客対応のマナー・席次のマナー			テキストを事前学習しておくこと		
	9	タイ人研修生との交流会(実習)			積極的にタイ人研修生と交流してください。		
	10	タイ人研修生との交流会(実習)			積極的にタイ人研修生と交流してください。		
	11	ビジネス実務のマナー-来客対応のマナー			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
	12	情報の整理・伝達について基礎的な知識,総まとめ			テキストを事前学習しておくこと		
	13	情報の整理・伝達について基礎的な知識,総まとめ			テキストを事前学習しておくこと。		
	14	情報の整理・伝達について基礎的な知識,総まとめ			授業内容に係る確認テストを実施するので復習しておくこと		
15	ビジネス実務マナー3級 総まとめ			テキストを事前学習しておくこと			
評価方法	(1)小テストを5回実施する。(2)宿題(3)授業態度等を考慮する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト		○				50%
	宿題		○				25%
	授業態度				○		25%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、単位取得ができない。						

科目名	サービス介助演習							
科目名(英)								
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	城下/高田/(未定)			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	エアライン科2年							
授業概要	取得したサービス介助士資格の復習							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○	○			取得したサービス介助士資格の学習項目を振り返る		
	○		○			高齢者・障がい者への対応方法を振り返る		
	○					心のバリアフリーについての理解		
テキスト・教材 参考図書	サービス介助士・准サービス介助士テキスト 心のバリアフリーDVD							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	オリエンテーション・障害者差別解消法・心のバリアフリー(城下)						
	2	ホスピタリティ・マインド(城下)						
	3	ノーマライゼーション・接遇(高田)						
	4	高齢者への理解と介助(高田)						
	5	車いす使用者への理解と介助(高田)						
	6	聴覚障がい者への理解と介助(高田)						
	7	視覚障がい者への理解と介助(未定)						
	8	自立支援・まとめ(未定)						
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施 (2)レポートを実施予定 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	小テスト	○		○	○		40%	
	宿題・レポート	○	○		○		40%	
	平常点	○			○		20%	
履修上の注意								

科目名	ビジネスコミュニケーション						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	就職後、実際のビジネス現場に必要なコミュニケーションに対する理解を深め、実践できる状態をめざす。ビジネスの現場において、業務遂行・人間関係構築のベースとなるコミュニケーション能力について、その基本的な内容の理解を深め、「正しく伝える技術」「正しく聴き取る技術」「チームとして成果を生み出す技術」を習得することを目指す。さらに、現在の自分自身の状態を把握するとともに、今後の能力開発の目標設定を行う。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					社会人基礎力の12の能力要素を理解し、内容を説明することができる。	
		○				正しく伝えるために求められることを理解し、演習を通して表現することができる。	
		○				目標設定に必要なことを理解し、自らの目標設定に活用できる。	
		○		○		他者の意見を尊重しながらコンセンサス(合意形成)を行うことができる。	
	○		○			入社時の自己紹介演習を通じてケースに合わせて自分自身を様々な切り口で伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント資料・パワーポイントスライド 日本経営協会 社会人基礎力診断ツール						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビジネスコミュニケーションの基礎知識(必要性の理解)					
	2	社会人基礎力とコミュニケーション(自分自身の強みと弱みの理解)				振り返りレポートを提出(復習)	
	3	会社組織(使命・役割)、目標を持ちながら働く必要性を理解する 目標設定の留意点を学び、PDCAのための目標設定を行う。				目標設定シートの作成・提出(復習)	
	4	ビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を理解する					
	5	話す力と聴く力に求められることを理解する。 正しく伝える・正しく受け取ることを、演習を通じ理解する。				事前学習シート作成(予習) 振り返りレポートを提出(復習)	
	6	チームワークとコミュニケーション コンセンサスの重要性・留意点を演習を通して理解する。				振り返りレポートの提出(復習)	
	7	チームワークとコミュニケーション 報連相の大切さを学ぶ				教科振り返り小テストの実施	
	8	他者紹介演習、自己紹介演習を通じて、簡潔にわかりやすく伝えることを実践する。				自分自身の自己紹介内容を考えておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施 (2)卒業までの行動変容目標シートを作成 (3)コミュニケーション演習を数回実施 (4)科目振り返り小テストの実施 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○				25%
	課題提出	◎	○		○		25%
	演習	◎			◎		20%
	小テスト		◎		◎		30%
履修上の注意							

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)	General Education						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン2年						
授業概要	時事問題や常識問題の理解を深め、繰り返し学習して知識を増やす。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					一般常識の用語を理解し、知識を増やす。	
		○				用語が表す仕組みや働きを理解し、説明できるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	一般常識 & 最新時事 一問一答【頻出1500問】						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	§ 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	2	§ 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	3	§ 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 § 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	4	§ 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	5	§ 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	6	§ 020ノーベル賞				答えられなかった問題を覚える。	
	7	§ 1-1 漢字の書き取り § 1-2 漢字の読み § 1-3 難読漢字 § 1-4 同音異義語				答えられなかった問題を覚える。	
	8	§ 1-5 同訓異義語 § 1-6 類義語・対義語 § 1-7 四字熟語 § 1-8 ことわざ・慣用句 § 1-9 敬語 § 1-10 誤文訂正				答えられなかった問題を覚える。	
	9	<復習> § 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	10	<復習> § 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	11	<復習> § 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 § 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	12	<復習> § 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	13	<復習> § 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	14	<復習> § 1-1~5				答えられなかった問題を覚える。	
15	<復習> § 1-6~10				答えられなかった問題を覚える。		
評価方法	期末試験の結果(100%)により評価する。						
		言語	非言語	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	English Communication II-①							
科目名(英)	English Communication 1							
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner			
実施年度	2019	実施時期	1st term	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	Airline 2nd Grade							
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English and the work environment							
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他			
	0	0		0				
目標								
To learn everyday vocabulary & remember key words To study to give students confidence to express themselves Encourage students to speak with confidence & a positive attitude.								
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Full test & worksheets							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1	Let's talk about Food						
	2	How do I get there?						
	3	How do you like the city?						
	4	Maps & Giving Directions						
	5	First Conditional						
	6	Airline English for check-in & security						
	7	Inflight Announcements: Boarding						
	8	Inflight Announcements: Discontinue & Safety						
	9	Air travel, Airports & Places						
	10	Could you help me?						
	11	Comparatives						
	12	And what would you like?						
	13	Ordering Food						
	14	Test Preparation						
	15	End of term test						
評価方法			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		0	0				50
	小テスト							
	宿題・レポート							
発表・作品								
態度・意欲					0		50	
履修上の注意								

科目名	観光概論						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	観光業界に従事する者として、「観光」の歴史や社会における役割に対する理解を深め、日常の業務をこなすだけでなく、働く意義を考えながら、企業や社会に貢献することを考える。 実務的なスキルとしての時刻表の基本的な使用方法を学び、実践できる状態をめざす。 世界遺産について自らテーマを設定し、「教わる」のではなく自分自身で調べ・考え・まとめることを実践し、知識を深めるとともに、卒業後に求められる社会人としての「学び方」を身につける機会とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				観光業界の歴史・現状を理解し、自分たちの立場や役割を説明することができる。		
		○			JR時刻表の記載内容を理解し、時刻・時間を調べることができる。		
	○	○			世界遺産に関する学習テーマを自ら設定し、学んだことをレポートにまとめ発表することができる。		
	○			○	上記演習を通じて、「自ら学ぶ」という社会人としての学び方と学生時代との学び方の違いを説明できる。		
テキスト・教材 参考図書	プリント教材 JR時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	時刻表に記載されていることの意味と活用方法を学ぶ					
	2	時刻表の使い方を理解する(距離・時刻の調べ方の基本)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	3	観光業界に関する基礎知識の理解と、エアライン従事者としての立場					
	4	観光の歴史と現状(観光と交通機関のかかわり)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	5	時刻表の活用(簡単な旅程に対する複数の時刻の調べ方)			授業内容に対する理解度テストの実施		
	6	観光地と観光振興 観光関連産業					
	7	観光業界に従事する者としてのメンタルヘルス					
	8	世界遺産自主学习発表演習 科目確認小テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施(2)世界遺産学習レポートの提出とプレゼンテーション(3)科目確認小テストの実施 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				50%
	レポート	◎	○				
	発表(プレゼン)	◎			○		30%
確認小テスト		◎		◎		20%	
履修上の注意							

科目名	韓国語Ⅱ-①						
科目名(英)	korean						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン 科2年						
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションを習得する	
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法と比較する。	
	○	○				韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格する。(個人受験)	
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与する	
テキスト・教材 参考図書	韓国語学習スタートブック、韓国語能力試験合格対策講座NEW TOPIK！(白帝社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	韓国語能力試験対策講座	単語練習(1)	名詞		テキストを事前に読んでおくこと	
	2~4	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	5	韓国語能力試験対策講座	単語練習(2)	動詞		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	6~8	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	9	韓国語能力試験対策講座	単語練習(3)	形容詞		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	10~12	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	13	韓国語能力試験対策講座	単語練習(4)	名詞		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	14~16	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	17	韓国語能力試験対策講座	単語練習(5)	副詞ーその他		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	18~20	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと	
	21	特別講座	九州の中に韓国文化				
	22	模擬テスト実施					
23	まとめ、総合復習						
評価方法	1.小テストを実施する 2.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。)3.授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				50%
	出欠状況				◎		20%
	授業態度				◎		30%
履修上の注意							

科目名	航空業界対策Ⅱ						
科目名(英)	Interview lesson and Practical Study for Airline						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界を目指すうえで必要な知識を習得し、実務に携わる業務内容を学ぶ。また、面接時に必要なノウハウを理解し、実践できるようにする。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				航空業界に必要な知識を理解し、実務に対応できる基礎を習得する	
	○			○		航空業界対策・面接対策を実践することができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空業界対策・面接練習①				事前に企業研究しておく	
	2	航空業界対策・面接練習②				事前に企業研究しておく	
	3	航空業界対策・面接練習③				事前に企業研究しておく	
	4	航空業界対策・面接練習④				事前に企業研究しておく	
	5	航空業界対策・面接練習⑤				事前に企業研究しておく	
	6	航空業界対策・面接練習⑥				事前に企業研究しておく	
	7	航空業界対策・面接練習⑦				事前に企業研究しておく	
	8	航空業界対策・面接練習⑧				事前に企業研究しておく	
	9	航空業界対策・面接練習⑨				事前に企業研究しておく	
	10	航空業界対策・面接練習⑩				事前に企業研究しておく	
	11	航空業界対策・面接練習⑪				事前に企業研究しておく	
	12	航空業界対策・面接練習⑫				事前に企業研究しておく	
	13	航空業界対策・面接練習⑬				事前に企業研究しておく	
	14	航空業界対策・面接練習⑭				事前に企業研究しておく	
	15	航空業界対策・面接練習⑮				事前に企業研究しておく	
評価方法	(1)授業中の発表 (2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	○	○		○		50%
	授業態度				○		50%
履修上の注意							

科目名	社会教養Ⅱ-①						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント、マナープロトコルの基礎知識&検定2級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)			なし		
	2	学科行事(新入生歓迎会)			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)			なし		
	5	就職活動指導②(就職活動状況報告・履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	6	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	9	就職活動指導⑥(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	10	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	11	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	12	社会人としてのマナー・プロトコルの知識習得(復習)			プロトコル教科書を読んでおくこと		
	13	学科行事(実習壮行会)			1年次の実習を振り返り、実習ノートや実習で使用したメモ・資料を準備しておくこと		
	14	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと		
15	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと			
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
ホームワーク				◎			
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	接客手話①						
科目名(英)	signlanguage						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	前田心美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	聴覚障害についての知識習得と、ろう者のコミュニケーション・情報獲得等を支援するため、独自の文法を持ち、表情や身振りをを用いて豊かに表現する視覚的な言語である手話を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		聴覚障害について学び、聴覚障害者へ必要な対応方法を配慮することができる。	
	○	○		○		日常よく使う手話表現を学習し、簡単なコミュニケーションをとることができる。	
テキスト・教材 参考図書	一般財団法人全日本ろうあ連盟 今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう！」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	聴覚障害とは？			レポート提出		
	2	自己紹介をしてみよう			手話は目で見える言葉です。しっかり講師の表現方法を見て覚えてください。他に知りたい手話があったら遠慮なく聞いてください。		
	3	あいさつをしてみよう			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	4	手話がわからないとき			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	5	病気やけがで困ったとき			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	6	数字や時間の表現を覚えよう			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	7	趣味を話そう			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	8	行きたい場所の表現を覚えよう			同上 前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認してもらいましょう。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)第一回目講義に対するレポートを提出 (2)各授業項目の手話表現の正確さ・授業態度で評価以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	○				30%
	発表・作品	○	○		○		70%
履修上の注意	(講師が聴覚障害者の為、手話通訳が同行します)						

科目名	中国語Ⅱ - ①						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	青柳七重		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	観光系エアライン科 2年						
授業概要	2018年後期に学んだ基本文型を基に、より適切な語彙・表現を身に付け、仕事の現場で使える中国語の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	○				中国語のアスペクトを学び、動作がどのような状態にあるか示せる。		
	○				様々な助動詞を使って、より適切な表現ができる。		
	○				時間・時間量の表現を習得し、正しい語順で発話できる。		
		○			接客用語集をもとに、簡単な中国語でロールプレイを行う。		
	○				中国語検定準4級・4級に合格する。		
テキスト・教材 参考図書	.光生館 どんどん吸収中国語 / アスク出版 中国語検定準4級トレーニングブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	L.1~5	復習		昨年後期に学んだ文法事項・単語の確認		
	2	L.6	願望の助動詞・副詞		L.6の新出語彙の確認		
	3	L.6	反復疑問文・意思表示の仕方		L.5までの動詞文・名詞文・形容詞文の復習		
	4	L.6	小テスト・L.7 possibleの助動詞		L.6の復習/ L.7の新出語彙の確認		
	5	L.7	前置詞「在」・ 依頼表現		二けたまでの数字の復習		
	6	L.7	発表「自己PR」・ L.7 小テスト		L.7 の復習・ possibleの助動詞でスピーチ練習		
	7	L.8	時間詞復習/時間量		時間詞とそれを含む文章の復習		
	8	L.8	予定の助動詞		願望の助動詞の復習		
	9	L.8	電話のかけ方・L.8 練習問題		L.8文法事項の確認		
	10	L.8	小テスト・L.9 動作の回数		L.9 新出語彙の確認		
	11	L.9	動作の順番		動詞文の復習・頻出動詞の確認		
	12	L.9	二重目的語		動詞文の復習・頻出動詞の確認		
	13	L.9	練習・小テスト		L.9 新出語彙の確認の復習		
	14	L.10	アスペクト助詞「着」		L.10新出語彙の確認・今まで学習したアスペクト助詞の復習		
	15	L.10	動詞の重ね型		頻出動詞の確認		
	16	L.10	程度副詞・道案内の仕方		形容詞文の復習		
	17	L.10	練習・小テスト		L.10の復習		
	18		文法事項のまとめ・検定試験の過去問		文型事項の確認		
	19		文法事項のまとめ・検定試験の過去問		文型事項の確認		
	20		空港カウンター・機内のシナリオを作成・練習・ロールプレイ		日本語の接客用語・中国語の既習文型の復習		
	21		グループ発表		場面に応じた接客用語がなめらかに発話できるよう練習しておく		
	22	L.1~10	接客用語 復習		L.1~10の文法事項・語彙の確認		
23		期末試験		L.1~10の文法事項・語彙の確認			
評価方法	(1)各課終了後に小テストを実施する。(2)定期試験を実施する(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	○				10%
	宿題 発表		◎		◎		10%
履修上の注意	付属のCDで、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと。						